

## R1年度 翔舞塾 5/25 (土) SDG s 学習会「中野市のホテル会」は：

地元 高野尚一氏による講義と実際にホテルの生息地に出向いての学習は、この地を知る良い機会になったことでしょう。皆さんも色々な側面から地元について考えてみましょう。そして記録してみましょう。

また、今週末のSTEP 英検合格のための学習会も行われ、日頃学びきれない分野をがっつり学習しました。

■**教育実習生の先輩より【第2弾】** StudentTeachers の実習授業には慣れてきましたか(お互い?)。進路選択に参考になるお話をお二人目の彼に書いて戴きました。

N大 しばもとさん HR1-3 教科 体育

もしもの話をします。妄想してください。

あなたの目の前に神様が現れたとします。

神様はあなたにこう言いました。

「〇〇さん。あなたは普段からよく頑張っていますね。ご褒美を与えましょう。

職業を10コ挙げてみてください。その中からランダムで私が一つ選びます。

あなたはその職業の一流になることができます。

知的能力でも、運動能力でも、外見でも、運でも、その職業の一流になるためなら、

どんな能力でも与えましょう。」

あなたなら何を選びますか？ 職業を10コ、頭の中で挙げてみてください。

今の自分には到底できそうにない職業の方が良いと思います。現実味が無ければ無い職業ほど、想像するとワクワクしませんか？

話は変わりますが、僕自身の高校時代の後悔の話をします。

僕は中野西高校で3年間、クラスの友達、サッカー部の仲間達、担任の先生、部活に関わっていただいた先生方、その全ての人に恵まれ、素晴らしい青春を過ごせたと思っています。もちろん恋愛もしました。ツライこと、悲しいこと、ムカつくこと、面倒くさいことも多かったですが、それらもひっくり返って今では良い思い出です。

ただ、大きな後悔が一つあります。最近になって気が付いた後悔です。

それは、自分の将来について真剣に考えてこなかったことです。3年生の終盤になり、進路についてぼんやりと考え始めた頃、ある進路指導の先生に、こう聞かれました。

「柴本君は将来どんな仕事がしたいの？」

その時のことはよく覚えています。僕は、その瞬間に直感で思ったことを、素直に話してみました。

「プロサッカークラブの監督になりたいです」

その先生はサッカーに詳しい人で、その関係で何度かお話したことはありました。

先生は少し黙った後、こう言いました。

「Jリーグの監督のほとんどは、元はプロ選手だった人たちなんだよ。その道はけっこう厳しいかもな…」

僕はその言葉を聞き、一気に恥づかしくなりました。

“なに言っちゃってるの。サッカー選手として実績がゼロの君には無理だよ”と遠回しに言われたようなものだからです。

しかも、僕の言った“サッカークラブ”というのは、勝手に、海外を想像していました。

バカな夢でした。

僕はそこで「あー、ですよ。厳しいっすよねー」と受け流し、その場で諦めました。

それ以来、誰にもこの話はしていません。「早めに諦めて良かった、他で恥をかかずに済んだ」とホッとした気持ちでした。

しかし、現実には、プロ選手としての実績ないプロ監督は少数ながら存在します。世界中に。

数分の面談の中で、一瞬で諦めた僕の判断は、本当に正しかったでしょうか？

僕は、その先生を責める気は全くありません。その先生は100%正しいことを言っています。生徒に現実を教えるのも教師の大事な仕事の一つです。

僕が責めたいのは、何の行動もせずに諦めた自分です。

でも、今思うとこれは仕方のないことです。自分の将来について3年間ほとんど考えてこず、高3の終盤に進路面談で聞かれ、直感で答えただけです。言いくるめられて当然です。

しかし、もし普段から“海外クラブの監督になってみたいなあ”という気持ちが心の片隅にあったなら、日々の生活の中で無意識のうちに情報を集めていたかもしれません。普段の行動も違ったものになっていたかもしれません。

面談で「はい、厳しいことは分かっています。でも世界にはプロ経験のない監督も何人かいます。今はコツコツ英語の勉強を続けていて、卒業後はイングランドに行ってサッカーの勉強をしようと思います」と、自信を持って言えたかもしれません。

神様の話に戻ります。10コの職業は決まりましたか？

その中で、絶対に実現が不可能な職業はいくつありますか？

(不可能な図形? →)

